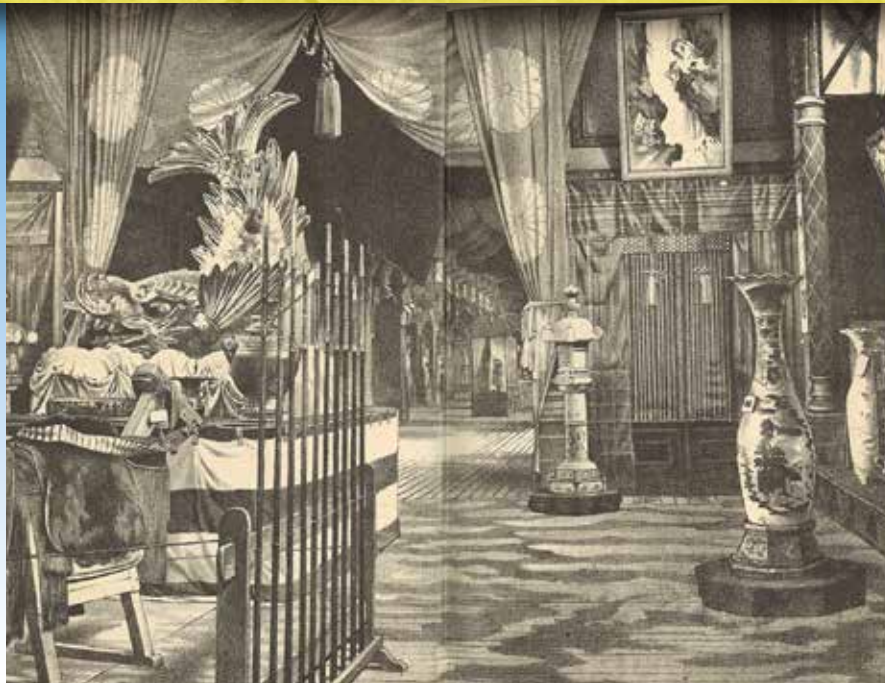




平成30年度 佐賀市大隈重信記念館企画展

文化と教育

博覧会からつむぐ日本の未来



上段 大日本内国勸業博覧會製糸器械之圖(佐野常民記念館蔵) / 下段左 青地白堆宝珠貼付龍文壺(株式会社香蘭社蔵) / 下段右 日本館内部の様子「博覧會會場參同記要」より(当館蔵)

 **大隈重信記念館**

会場●大隈重信記念館 2階企画展示室

【入館料】

大 人 :300円(20人以上の団体は200円)

小・中学生 :150円(20人以上の団体は100円)

平成31年
2/11(月・祝) ▶ 3/24(日)

9:00~17:00(入館は16:30まで) ※会期中無休

主催 ● 佐賀市、佐賀市大隈重信記念館

協力 ● 早稲田大学大学史資料センター、早稲田大学図書館、株式会社香蘭社、久米美術館、佐野常民記念館、有田ポーセリンパーク、有田町歴史民俗資料館、国立国会図書館、東京国立博物館(TNM Image Archives) (順不同)



平成30年度 佐賀市大隈重信記念館企画展

文化と教育

博覧会からつむぐ日本の未来

平成31年
2/11(月・祝) ▶ 3/24(日)

9:00~17:00(入館は16:30まで) ※会期中無休

明治6(1873)年、オーストリア・ウィーンで開催される博覧会に、日本政府として初の公式参加の際、大隈重信は奥国博覧会事務管理(御用掛)として加わり、後に万博事務局総裁に、そして佐野常民が副総裁に任命され、指揮を執ってゆきました。

本展では、ウィーン万国博覧会のテーマであった「文化と教育」をキーワードに、博覧会を通じて影響を受けた事柄と、万国博と同軸で日本で起きていた事をご紹介します。

明治7年の大隈重信「早稲田清話」より

その1 ウィーン万国博覧会

万国博は世界各国が集まるいわば商談会。その中で日本は大盛況だったといわれています。成功の裏には失敗から学んだある戦略がありました。それは一体…? ウィーン万国博覧会の現地での様子や実際に出品されたものから読み解いていきましょう!



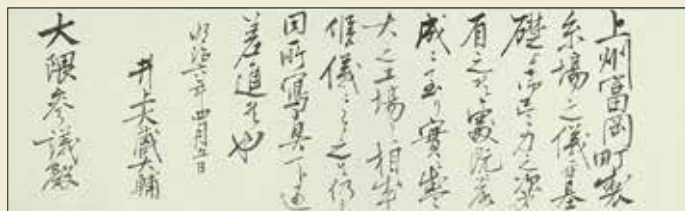
ウィーン万博のカード(久米美術館蔵)



ウィーン万博記念メダル(早稲田大学大学史資料センター蔵)

その2 日本政府初の万国博公式参加! 一方その頃日本では…

殖産興業を目指し強い国にするため、国の新しい仕組みを整えていた大隈が打ち立てた制度は、現代の私たちに欠かせないものが多くあります。その中より石丸安世らと進めた電信、日本最初の官営工場である富岡製糸場について紹介します。



富岡製糸場写真真下賜褒状(早稲田大学図書館蔵)

その3 国内博物館の源流となった博覧会、そのねらいとは…

ウィーン万国博覧会、そしてその万国博から大きな影響を受けていた内国勸業博覧会についてご紹介!こちらでは内国博の様子がどんなものだったのかを描いた錦絵などからひも解きます。



内国勸業博覧会行幸之図(早稲田大学図書館蔵)

職員によるギャラリートーク

下記日程において、当館館長と学芸員による企画展を解説するギャラリートークを開催します。お気軽にご参加ください。

日程: 3月3日(日)、3月21日(木・祝)

時間: 13:30~

料金: 不要(ただし入館料が必要です)

大隈重信旧宅(生家)特別案内

企画展開催中の以下の日程で大隈侯を学ぶ「まきの会」による生家の特別案内や、大隈に関する紙芝居・カルタなど実施予定です。

また、幼少期の大隈が勉強していた旧宅2階の部屋も見学可能です。

日程: 2月23日(土)、24日(日)、3月2日(土)、3日(日)、9日(土)、10日(日)

時間: 10:00~16:00

料金: 不要(ただし入館料が必要です)

大隈重信記念館

〒840-0054 佐賀県佐賀市水ヶ江二丁目11番11号

TEL 0952-23-2891

<http://www.okuma-museum.jp>

「佐賀市 大隈重信記念館」で検索

©当館Facebookは2018年7月より新規ページに移転いたしました。



↑HPはこちらから



↑FBはこちらから



【交通アクセス】

佐賀駅バスセンターより[20][21][23]「大隈重信記念館入口」バス停下車、徒歩5分

長崎自動車道佐賀大和ICから車で20分

佐賀城本丸歴史館から徒歩10分 / 佐賀市歴史民俗館から徒歩10分

P 50台程度(大型バスも数台可能)